

白バラよこはま

No.43

平成25年1月発行

編集・発行

横浜市明るい選挙推進協議会
横浜市中区港町1-1 ☎045(671)3335

▶【鶴見区】つるみ臨海フェスティバル



◀【南区】衆院選「サ・イコット」横浜橋通商店街にて



▶【緑区】推進講演会の様子

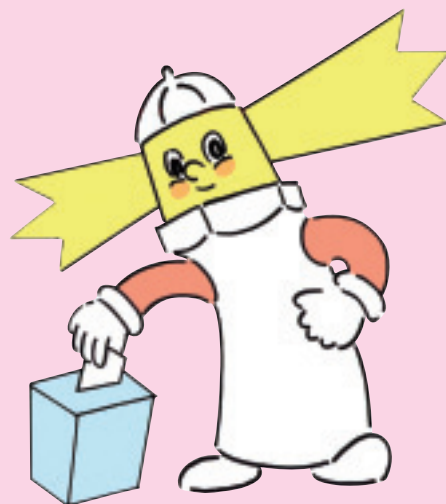


◀【泉区】泉区民ふれあいまつりの様子

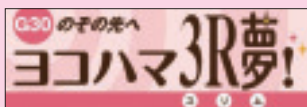


目次

推進委員・推進員の心得、三ない宣言	2
各区今年度の事業から	3~20
横浜市今年度の事業から	21~23
リーダー研修会報告	24~25
衆議院議員総選挙の区別投票率、 市議会議員西区補欠選挙の投票率	26
各選挙における投票率	27
選管ホームページの紹介	28



横浜市の
選挙のマスコット
イコットちゃん



明るい選挙推進協議会推進委員・推進員の心得

～活動をしていく上での諸注意～

明るい選挙推進運動の目的は、選挙が公正に行われ、選挙を私たち国民の意見を確かに政治に反映させるものにし、民主主義の健全な発展を達成することです。

ここでは、明るい選挙推進運動を担う推進委員、推進員のみなさんが活動をしていく上で注意すべき事例について紹介します。

明るい選挙推進運動は、選挙を浄化するためにはじまったひとつの政治教育運動です。

したがって、特定の政党、政策、候補者を支持したり逆にそれらに反対したりする政治活動や選挙運動とははっきり区別されなければなりません。

次のような例はよく聞かれる質問です。

Q：特定の候補者の選挙運動員をしながら、その選挙の街頭啓発「ザ・イコット」に参加してもよいですか。

A：好ましくありません。明るい選挙推進運動は公平な第三者の立場で行う運動です。特定の候補者のための選挙運動をしながら、その選挙時の啓発活動に参加することは差し控えましょう。

Q：某候補は、明るい選挙推進運動の趣旨を理解し、これに沿った選挙運動をしている人格者。明るい選挙推進員を続けながら、このような候補者がいることをこの候補者の推薦人になって知らせたいのですが。

A：明るい選挙推進員としての活動は、公正かつ不偏不党でなければなりません。どんなに高潔な方であっても特定の候補者の推薦人になることは避けましょう。

Q：投票日の午後になって、純粋な立場で「投票に行きましたか」と近所の家を回り、まだ行っていない人に投票に行くよう言っ歩いて歩きたいのですが。

A：選挙のとき、個人的に啓発活動を行うことは、現行法上種々の誤解を生む恐れがあります。明るい選挙推進協議会では選挙時に街頭啓発を実施していますので、推進員はそちらに参加しましょう。

- 町内会などの集会への飲食代や品物の差し入れ
- お祭りへの寄附や差し入れ



- お中元やお歳暮などちょっとしたおみやげ



- 「贈らない」「求めない」「受けとらない」の三ない運動



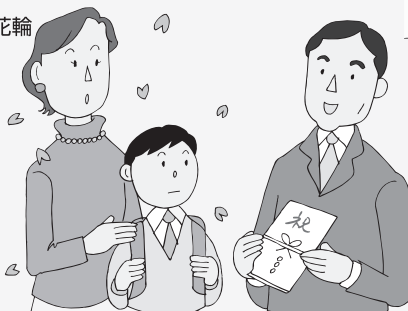
政治家の寄附は禁止 有権者の寄附要求も禁止

政治家が選挙区内にあるものに対して、ここに紹介されたようなことをすると処罰されます。

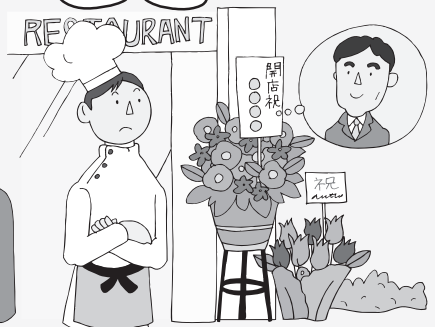
- 秘書などが代理で出席するお葬式の香典や花輪



- 地域の運動会やスポーツ大会への差し入れ



- 出産、入学、卒業、就職などの祝い金や品物



- 開店祝いなどの花輪や祝い金

鶴見区

今年度は推進員の改選の年にあたり、6月に「明るい選挙推進大会」を開催しました。大会では、委嘱式を行うとともに、埼玉大学教授の松本正生氏を講師としてお招きし、講演会を実施しました。講演会後には、各地区の代表者を選出し、今後の啓発活動に向けて、推進員の意識の高揚を図りました。

10月には、区民祭りである「つるみ臨海フェスティバル」で、似顔絵ブースを出展しました。多くの親子連れで大盛況の中、選挙啓発文を似顔絵台紙に掲載し、また会場で啓発物品の配布を行い、啓発活動を実施しました。

また、新規事業として、鶴見大学の大学祭である「紫雲祭」に参加しました。パンフレットに啓発文を掲載するとともに、紫雲祭実行委員会と連携し、ポスターコンテストでの投票・開票を実施しました。本物の投票器材が大変好評で、若年層に向けた啓発の強化の場となりました。

また2月には、将来の有権者である中学生を対象とした選挙の出前講座「せんきょフォーラム」の実施を予定しています。

その他、鶴見川花火大会及び中学校生徒音楽会のプログラムへ選挙啓発文を掲載、機関紙「イコットNEWS」の発行、区内の小中学校への投票器材の貸出など、様々な活動を行いました。今後も引き続き、積極的な啓発活動に取り組んでいきます。

▼ 明るい選挙推進大会



▲ つるみ臨海フェスティバル

● 常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
平成24年5月	推進委員総会	平成23年度の事業報告を行うとともに、平成24年度の事業計画を審議した。
6月	明るい選挙推進大会	推進員の改選に合わせて、委嘱式を実施するとともに、推進員向けの講演会を開催した。講演会後には、推進員会議を開催し、地区代表者の決定を行った。
8月	鶴見川花火大会	鶴見川花火大会に協賛し、プログラムに啓発文を掲載することにより、明るい選挙推進協議会のPRを行った。
10月	つるみ臨海フェスティバル	「つるみ臨海フェスティバル」にブースを出展し、似顔絵コーナーを開催。似顔絵台紙に選挙の啓発文を掲載するとともに、会場内で啓発物品の配布を行い、明るい選挙推進協議会のPR及び選挙啓発を図った。
10月	鶴見大学「紫雲祭」	若年層に対する啓発の強化を目的として鶴見大学の大学祭である「紫雲祭」に参加。パンフレットに啓発文を掲載するとともに、紫雲祭実行委員会と連携することにより、投票器材を利用したポスターコンテストを実施し、啓発活動を行った。
11月	中学校生徒音楽会	区内の中学生が参加する音楽会の会場にて、明るい選挙推進協議会のPRを行うとともに、選挙啓発文を掲載したプログラムを配布し、将来の有権者への動機づけを図った。

開催月	事業名	事業内容
平成25年2月	せんきょフォーラム	選挙啓発と学習機会の提供を目的として、区内中学校にて出前講座を開催する。模擬投票開票や講演会を実施し、将来の有権者への動機づけを図る。
随時	イコットNEWS発行	協議会の機関紙として、実施事業の広報や選挙結果の報告を中心に掲載、発行する。
	投票器材の貸出	区内の小・中学校に投票器材を貸出し、将来の有権者への動機づけを図る。

▼ ポスターコンテスト開票作業



▲ ポスターコンテスト

神奈川区

本年度、神奈川区明るい選挙推進協議会では、若年層啓発事業と、区民啓発事業を柱に活動を行っています。

若年層啓発事業としては、11月3日に神奈川大学の学園祭に参加し、啓発物品の配布、「イコットちゃん」の着ぐるみによる選挙のPR、啓発DVDの放映等を実施しました。11月4日の神奈川中学校での職業体験授業では、参加者に対し模擬投票と開票事務の体験授業を行いました。11月30日の六角橋中学校でのせんきよフォーラムでは、生徒会役員選挙を題材とし、各候補者による演説や、実際の選挙で使用している器材を用いた投票・開票を本番さながらに体験してもらいました。また、区内小中学校を対象に選挙器材の貸出も実施しています。

今後は、平成25年1月29日に青木小学校でのせんきよフォーラム（デザート選挙）を開催する予定です。

区民啓発事業としては、6月に横浜FCかながわ区民DAYへ参加し、「イコットちゃん」の着ぐるみによる選挙のPRを実施しました。10月には区民まつりへ参加し、来場者へ似顔絵の贈呈、パネルの展示、啓発物品の配布等を実施しました。

今後は、平成25年3月に神奈川区イコット通信を発行する予定です。

今後も投票参加の促進のため、各種活動に積極的に取り組んでいきます。



▲ 衆院選「ザ・イコット」

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
平成24年6月	横浜FCかながわ区民DAYへの参加	選挙マスコット「イコットちゃん」の着ぐるみを用いて、来場者に対して選挙のPRを行いました。
10月	神奈川区民まつりに参加	参加者へ似顔絵の贈呈、パネルの展示、啓発物品の配布を行いました。
11月	神奈川大学の学園祭に参加	啓発物品の配布、「イコットちゃん」の着ぐるみを用いた選挙のPR、啓発DVDの放映等を行いました。
	神奈川中学主催「職業体験授業」に参加	模擬投票・開票の体験授業を行いました。
	六角橋中学校でせんきよフォーラム(第1回)を開催	生徒会役員選挙を題材とし、各候補者が演説を行うことや、実際の選挙で使用している器材を用いた投票・開票を本番さながらに実施しました。
6～12月	投票器材の貸出し	区内小中高等学校に、生徒会選挙の手引きを送付しました(6月)。中学校等の生徒会等の選挙用に選挙器材を貸出しました(利用時期：9月～12月、利用校：中学校6校)。
平成25年1月	横浜市・区明るい選挙推進大会に参加	神奈川区の平成24年度啓発事業の実績報告等を行いました。
	青木小学校せんきよフォーラム(第2回)を開催	給食に出されるデザートを題材とし、各候補者が演説を行うことや、実際の選挙で使用している器材を用いた投票・開票を本番さながらに実施する予定です。

開催月	事業名	事業内容
3月	神奈川区イコット通信の発行	選挙に関するお知らせを発行する予定です。



◀ 神奈川区民まつり



▲ 六角橋中学校
せんきよフォーラム



▲ 神大選挙啓発プロジェクトチームの皆様

西 区

西区では、明るくきれいな選挙の実現と、より一層の投票参加を推進するために、各種啓発活動を実施しています。

11月4日の「西区民まつり」では、ステージイベント「着ぐるみ大集合！」にイコットJr.が出演し、投票の大切さを訴えました。この他、実際の選挙で使用する投票箱や記載台を用いた選挙クイズ大会を実施し、来場者に楽しみながら選挙について学んでいただきました。

若年層向けの啓発活動としては、未来の有権者の選挙に対する関心を高めるため、年間を通して区内中学校へ投票器材の貸出しを行っています。本年度は区内中学校3校への貸し出しを行いました。

1月には区内中学校において「せんきょフォーラム」を開催し、近い将来有権者となる中学生に、政治への関心を高めてもらうため、選挙の出前授業と模擬選挙を実施しました。

3月には「明るい選挙推進大会」を開催します。推進委員・推進員の意識高揚並びに連帯を深め、次回の選挙での明るい選挙の更なる向上を目指して啓発活動に奮闘します。

今年度の啓発物品としては、明るい選挙普及用の選挙啓発メモ帳を作成しました。区民まつりや選挙時啓発の際に配布し、非常に好評を得ておりました。



▲街頭啓発_ザ・イコット

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
平成24年 6月	定例会	前年度の事業実績、決算の報告、及び当該年度の事業計画案、予算案の審議を行った。
11月	西区民まつり	選挙マスコットであるイコットJr.との記念撮影や、せんきょクイズを実施して、選挙のPRをした。
平成25年 1月	西区せんきょフォーラム	将来有権者となる中学生に、模擬選挙を通じて、一人の有権者として選挙の意義を認識し、投票に対する意識を高めてもらうことをねらいとして開催する。
3月	西区明るい選挙推進大会	進委員・推進員の意識高揚並びに連帯を深めるため開催し、明推協の活動報告等を行う。 また、講師による講演を行い、選挙等への参加意識の向上を図る。
通年	学校の生徒会選挙等での実践啓発	区内の中学校生徒会選挙に際して、区内中学校3校に投票器材を貸し出した。
	機関紙「明推協だより」の発行	推進委員・推進員への情報提供を目的とした機関紙を発行する。
	啓発物品の作成	明るい選挙普及用の啓発メモ帳を作成し、西区民まつりや選挙時啓発の際に配布した。

▼区民まつり 着ぐるみ大集合



▲区民まつり 選挙クイズ大会

中 区

中区明るい選挙推進協議会は、平成24年中に別表のとおり啓発事業を展開しました。

今年も「tvk 秋じゃないけど収穫祭」や、中区民祭り「ハローよこはま」といった大規模なイベントに参加し、多くの方に選挙について考えてもらい、触れてもらう機会を設けることが出来ました。

また、将来の有権者である小中学生を対象に、今年度で32回目を迎えた「中区明るい選挙推進作文コンクール」を実施し、12月に中区役所で表彰式を開催しました。

この他、中学生を対象とした「中区せんきよフォーラム」や、高校文化祭への参加など、様々な啓発事業を行いました。

今後も、幅広い世代の選挙参加を念頭に置きながら、特に若年層への働きかけを重視した啓発事業の実施を目指します。

▼ tvk 秋じゃないけど収穫祭



▲ 中区民祭り「ハローよこはま」

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
平成24年 6月	tvk秋じゃないけど 収穫祭	6月2日(土)に日本大通りで開催された「tvk秋じゃないけど収穫祭」に参加し、クイズ形式の模擬投票による選挙啓発を行いました。クイズはどの世代でも楽しめるような内容として、約850人の方に投票していただきました。
9月	高校文化祭への 参加	9月29日(土)に開催された横浜市立みなと総合高等学校の文化祭に参加し、模擬投票による選挙啓発を行いました。模擬投票の参加者には、明るい選挙のイメージキャラクター「選挙のめいすいくん」との写真を撮影し、その場でプレゼントしました。
10月	中区民祭り (ハローよこはま)	10月7日(日)に横浜公園・日本大通りで開催された中区民祭り「ハローよこはま2012」に参加し、マスコットキャラクターの人気投票による選挙啓発を行いました。人気投票には12体のマスコットが候補者として参加し、約980人の方に投票していただきました。
11月	第2回ウォーク& 健康フェスティバル	11月3日(土)に開催された「第2回ウォーク&健康フェスティバル」に参加し、選挙啓発を行いました。来場者には啓発物品を配布するとともに、抽選会の司会・進行を行い、その中で選挙管理委員会の役割を紹介しました。

開催月	事業名	事業内容
11月	中区せんきよ フォーラム	横浜市立富士見中学校と協力して「選ぶことの大切さ」をテーマとした講演会を開催しました。 開催日：11月21日 参加人数：約180人
通年	中区明るい選挙 推進作文コンクール	区内在住・在学の小中学生を対象に、選挙等をテーマとした作文コンクールを実施しました。12月には入賞者に対し、中区役所にて表彰式を行いました。 応募総数：574作品
通年	明推協通信 「イコットくん ニュース」発行	推進員への情報提供及び推進員の選挙啓発意識向上を目的とした機関紙を年間を通じて発行しています。
年間	投票器材貸出	区内の企業・学校等へ実際の選挙で使用している投票器材等の貸出しを行っています。

南区

南区明るい選挙推進協議会は、南区選挙管理委員会と連携し、「きれいな選挙」積極的な投票参加の実現を目指し、啓発活動を行っています。

例えば毎年、7月には、南区の夏の風物詩である「南まつり」において、選挙ブースを出展し、選挙クイズを実施しています。8月には、親子映画会を開催し、若い有権者と将来の有権者に選挙啓発活動を行っています。両方とも、多くの推進員にご協力をいただきました。

また、「南区文化祭」、「ボイス・オブ・ユース(青年の主張)」や、南区の春の一大イベントである「桜まつり」にも協賛して、パンフレットやポスターなどに啓発標語などを掲載し、小学生から有権者の方まで幅広く呼びかけを行っています。

さらに、中学校の生徒会選挙が実施される際に、選挙器材の貸し出しを行い、実際に行われる選挙に近い生徒会選挙を中学生に体験してもらいました。

12月には、南区明るい選挙推進協議会のマスコットキャラクターの「まねっきー」と啓発標語が掲載されたポケットカレンダーを作成、配布しています。

また、同じく12月に実施したせんきょフォーラムでは、高校生を対象に啓発講演会を行いました。

2月には南区明るい選挙推進大会を実施する予定です。南区明るい選挙推進大会では、推進委員・推進員の皆さんが一堂に集い、「きれいな選挙」積極的な投票参加の実現へむけた啓発活動を展開することを確認する契機としています。

▼ 衆院選「ザ・イコット」横浜橋通商店街にて



▲ 衆院選「ザ・イコット」弘明寺商店街にて

● 常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
平成24年 6月、9月、 3月	明推協だより	明推協の事業内容や活動報告を機関誌にまとめ、推進委員及び推進員に年3回発行。
7月	南まつり	選挙ブースを出展、啓発パネルから答を導く選挙クイズを実施し、正解者に啓発物品を贈呈。
8月	明るい選挙映画会	若年層を対象とした啓発を目的に、親子映画会を開催、今年度は、人気アニメ映画「タンタンの冒険」と「選挙啓発アニメDVD」を上映。アンケートの記入、投函に実際の選挙器材を使用。
10月、11月	南区文化祭、 ボイス・オブ・ユース	南区恒例の文化行事に協賛し、配布物に啓発標語などを掲載。
12月	“まねっきー”クリーン 選挙PR事業	当協議会のマスコット“まねっきー”と啓発標語の入ったポケットカレンダーを作成し、広く区民にきれいな選挙と積極的な投票参加を呼びかける。
12月	せんきょ フォーラム	高校生を対象として、講演会を実施。
平成25年 2月	明るい選挙推進 大会	明るい選挙の実現のため、推進委員・推進員が一堂に会し、大会および研修を実施。
3月	桜まつり	周知用チラシやポスターなどに啓発標語などを掲載し、協議会の名前と啓発標語が入った“ぼんぼり”を会場の大岡川沿いなどに掲げる。

開催月	事業名	事業内容
年間	選挙器材貸出	未来の有権者の選挙への関心を高めるため、生徒会選挙等へ選挙器材を貸し出している。



▲ 南まつりの様子



▲ 映画会受付の様子



▲ 映画会会場の様子



▲ 映画会アンケート回収の様子

▼ 高校文化祭におけるブース出展の様子



▲ こうなん子どもゆめワールドでのクイズ投票の様子

今年度、港南区の明るい選挙推進協議会では、若い世代への啓発に力を入れています。

近い将来に有権者となる高校生に選挙や政治に対する興味を深めてもらうため、9月・11月には区内にある3つの高校の文化祭に啓発ブースを出展しました。各校30人が実際の選挙器材を用いたクイズを楽しみ、85%の方が「選挙に興味があった」とアンケートに答えてくれました。

毎年秋口に行われる「こうなん子どもゆめワールド」に出展したブースには、10歳未満の児童や親子連れを中心に1300名の方が訪れ、列をなしてパネルを読み、熱心にクイズに答えてくれました。クイズの結果からは、約3割の方が、「投票所に最初に来た方が、投票箱の中を確認する」ことを知りませんでした。

1～2月は、5校の小学校で6年生を対象に「デザート選挙」を実施しています。これは小学校生活最後の給食のデザートを本番さながらの選挙で決めるというもので、楽しく学び、啓発効果は絶大です！22年度から実施しており、今年度から実施校数を増やしています。

2月には、投票率が低い子育て世代への啓発を目的として、「トイストーリー3」の上映とパネル展示により、親子で楽しみながら選挙を学べるイベントも行います。

それぞれの啓発効果を検証しながら、次年度の活動につなげていきます。

● 常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
平成24年6月	港南区明るい選挙推進協議会委員会	平成23年度事業報告及び決算報告、監査報告・平成24年度事業計画及び予算の審議を行った。
9・11月	高校文化祭における選挙啓発ブースの出展	将来の有権者となる高校生に選挙や政治に関する関心を高めてもらうため、区内の高校文化祭に選挙啓発ブースの出展を行った。 実施高校：神奈川県立横浜南陵高等学校 横浜市立南高等学校 神奈川県立永谷高等学校
11月	こうなん子どもゆめワールドにおける選挙啓発ブースの出展	投票参加ときれいな選挙の呼びかけを実施するため、多くの区民が参加する「こうなん子どもゆめワールド」で選挙啓発ブースの出展を行った。 場所：港南ふれあい公園
12月	横浜市港南区明るい選挙推進大会・啓発講演会	第1部は推進委員・推進員を対象に決議文採択を行い、平成25年度の選挙に向けて一致団結を図った。 第2部から港南区民を含めて啓発講演会を開催した。 場所：港南公会堂 講演テーマ：「東日本大震災被災地の選挙と人々の意識－震災以前との変化に注目して－」 講師：河村 和徳氏 (東北大学大学院 准教授)
平成25年1月・2月	せんきょフォーラム(デザート選挙)	将来の有権者の、政治への興味や投票参加の意識を図るため、小学校6年生を対象に実際の投票箱等を使用し、小学校生活最後のデザートを選挙によって決定する体験学習を行っている。 実施小学校：横浜市立小坪小学校 横浜市立相武山小学校 横浜市立日下小学校 実施予定小学校：横浜市立吉原小学校 横浜市立日野小学校

開催月	事業名	事業内容
2月	明るい選挙映画上映会	投票率が低い子育て世代に、生活に身近な選挙について考えてもらう機会にするため、子どもと一緒に参加できる映画の上映に加え、選挙ブースを展示し、啓発を行う。
通年	明推協だよりの発行	推進委員及び推進員への情報提供を目的に、機関紙「こうなん明推協だよりの」を年間3回程度発行している。
	啓発物品の作製	選挙参加を呼び掛ける啓発物品を作製し、各種イベント等で配布している。
	選挙器材貸出	区内各学校へ生徒会選挙用に選挙器材の貸出を実施している。

保土ヶ谷区

こんにちは！世界をつなぐ横浜の港の西に見える町々でおなじみの、保土ヶ谷区明るい選挙推進協議会は、「不正のない明るい選挙の実現」と「投票参加の向上」を目指し、啓発活動を行っております。

今年度の常時啓発事業は、5月、ニッパツ三ツ沢球技場で行われた横浜FC保土ヶ谷区民DAYに参加し、啓発活動を行いました。

6月、保土ヶ谷区役所本館に親子まつり(他課主催)にきた親子を対象に、選挙クイズ付ポケットティッシュを配布しました。

10月、ほどがや区民まつりで区民に選挙に対する思いを書いてもらい、寄せ書き(せんきよの木)を作成しました。

11月、「ほどがやバンドバトル」を保土ヶ谷公会堂で、青少年指導員協議会と共催しました。中学校及び高校からバンドを募り、本物の投票箱や記載台を使って順位を決める模擬投票を行いました。

1月には「デザート選挙で小学校生活最後の給食に思い出を！」をテーマに、区内3つの小学校の6年生を対象に面白くわかりやすい形で選挙を体験してもらう予定です。

▼ほどがや区民まつりブース内



▲バンドバトルにて
出演バンドとイコットJr.の共演

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
平成24年 5月	横浜FC保土ヶ谷区 民DAY	サッカー観戦者を対象に選挙クイズ付ティッシュの配布を行いました。会場にはイコットJr.も登場し、盛り上げました。
6月	親子まつり参加者 への選挙啓発	保土ヶ谷区役所本館で行われた親子まつり(他課主催)に参加された親子を対象に、選挙クイズ付ティッシュの配布とイコットJr.の着ぐるみにより選挙啓発を行いました。
10月	ほどがや 区民まつり	県立保土ヶ谷公園で行われたほどがや区民まつりにブース出店し、サイコロゲームを行ったほか、区民に選挙の思いを書いてもらい、寄せ書きを作成しました。(せんきよの木)
11月	ほどがや バンドバトル	青少年指導員協議会と共催し、中学校及び高校のグループによるバンドで演奏を競いました。また、当日はイコットJr.の着ぐるみが登場したり、演奏の合間に選挙クイズを行いました。優勝者を決める際は実際の投票箱、記載台、投票用紙を使うなどし、投票・開票を実験してもらいました。
平成25年 1月	デザート選挙	小学6年生を対象にいくつかのデザートの候補から、自分が食べたいものを投票してもらい、1番票が多かったものを、小学校最後の給食のデザートとして出します。投票には実際の投票箱・投票用紙を使います。

開催月	事業名	事業内容
通年	選挙器材の 貸し出し	区内中学校等に選挙器材の貸し出しを行い選挙に親しみをもってもらいます。
年3回	明推協だより	推進委員・推進員の機関紙を発行します。



▲ほどがや区民まつりにて
作成した「せんきよの木」

旭区

旭区明るい選挙推進協議会では、今年度も「明るい選挙の実現」と「区民の積極的な投票参加の促進」を図るため、各種啓発事業を実施しています。

毎年恒例となっている竹製うちわを今年度も作製し、8月に旭区内で開催された「道の日キャンペーン」で配布したほか、推進員さんを通して旭区内各地域の夏祭りやイベント会場で啓発活動に役立たせていただきました。

10月には、「旭ふれあい区民まつり」に参加し、選挙啓発コーナーを設け、明るい選挙推進協議会をPRしました。選挙クイズには、多くの来場者に参加していただきました。

また、11月には、「旭区明るい選挙推進研修会」を開催しました。神奈川県ライトセンターで点字体験等を通して、点字の必要性を学習し、推進員の意識向上を図りました。

1月には、「旭せんきょフォーラム」を実施し、未来の有権者である小学生を対象とした模擬投票・開票を行いました。これから2月にかけて、計6校で実施する予定です。

この他にも、中学校の生徒会選挙時に投票機材や選挙運動物品の貸出事業を行っております。

今後も「企画検討委員会」を中心に啓発事業について企画・検討し、明るくきれいな選挙の実現を目指して活動していきます。



▲街頭啓発「ザ・イコット」③



▲街頭啓発「ザ・イコット」②



▲街頭啓発「ザ・イコット」①



▲大好評！竹製うちわ

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
平成24年5月	旭区明るい選挙推進協議会定例会議	平成23年度の事業報告・決算報告及び平成24年度の事業計画・予算案について審議を行った。 ・日時 平成24年5月24日(木) ・場所 旭公会堂1・2号会議室
6月～8月	竹製うちわ作製・配布	明るい選挙マスコットキャラクターを掲載した竹製うちわを作製。道の日キャンペーンや、各自治会・町内会等にも配布し、明るい選挙を呼びかけた。
8月	道の日キャンペーン	旭土木事務所主催のキャンペーンに推進員が中心となって参加し、竹製うちわやオリジナルボールペン等を配布しながら啓発活動を行った。 ・日時 平成24年8月10日(金) ・場所 相鉄線二俣川駅前第二歩道橋
10月	旭ふれあい区民まつり	区民まつりにブースを設け、選挙クイズや選挙パネルの展示を実施し、明るい選挙を呼びかけた。 ・日時 平成24年10月21日(日) ・場所 旭区役所第一駐車場
11月	旭区明るい選挙推進研修会	研修会を開催し、点字について理解を深め、推進員の意識向上を図った。 ・日時 平成24年11月28日(水) ・場所 神奈川県ライトセンター
平成25年1月～2月	旭せんきょフォーラム	未来の有権者である小学生を対象に、身近な話題をテーマにした模擬投票・開票を行い、選挙に対する理解・関心を深める。今年度は6校実施予定。

開催月	事業名	事業内容
年間	企画検討委員会(年3回)	明推協事業の実施について、運営方法や新たな啓発活動について企画・検討し、各種イベントにおいては中心となって運営を行う。
	生徒会選挙物品及び投票器材の貸出	区内の中学校の生徒会選挙時に、選挙運動用のぼり旗・たすき・腕章等の選挙物品及び投票箱・記載台の貸出を行った。
	イコット通信の発行(年4回予定)	推進委員・推進員への情報提供・交流の場を目的とした機関紙「あさひイコット通信」を発行。



▲道の日キャンペーンでの啓発活動



▲「旭ふれあい区民まつり」での啓発活動



▲旭区明るい選挙推進研修会

磯子区

磯子区明るい選挙推進協議会では、明るくきれいな選挙の実現と投票率の向上を目指し、各種啓発事業を実施しています。

常時啓発として、将来の有権者である小・中・高校生を対象に「磯子区を元気にする標語・選挙標語募集事業」を実施し、約470作品の応募がありました。すべての応募作品を磯子区総合庁舎1階区民ホールで行うほか、入選作品の表彰及び受賞作品を活用した啓発物品の作製を行います。また、区内の学校で行われる生徒会選挙に際し、候補者用たすき、選挙管理委員会腕章などの選挙運動用物品や投票箱、記載台などの投票器材の貸出しを実施しています。

9月には、磯子まつりオープニングイベントにて、選挙と磯子区にまつわるキャラクターの人気投票ブースを設け、延10009名の方々が投票に参加されました。投票してくれた方々へ選挙啓発グッズを配付し、明るい選挙のPRと投票参加の呼びかけを行いました。

このほか、2月には、若年層の投票率向上を図るため、未来の有権者である区内の中学生を対象に「せんきょフォーラム」を開催する予定です。



▲ 衆院選 街頭啓発

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
平成24年7月	推進員研修	明るい選挙推進運動のより一層の充実と推進員の意識向上を図るため、研修会(横浜市会・横浜地方検察庁見学ツアー)を開催。
7月～平成25年2月	磯子区を元気にする標語・選挙標語募集事業	未来の有権者である小・中・高校生を対象に「磯子区を元気にする標語・選挙標語」を募集。すべての応募作品を磯子区総合庁舎1階区民ホールに展示するとともに、入選作品を選定し表彰を行うほか、受賞作品を活用して啓発物品を作製。
9月	磯子まつりオープニングイベント	磯子まつりオープニングイベントにて、選挙と磯子区にまつわるキャラクターの人気投票ブースを設け、投票に参加してくれた方々へ選挙啓発グッズを配付し、明るい選挙のPRと投票参加の呼びかけを実施。 ・会場 磯子区総合庁舎
平成25年2月	せんきょフォーラム	若年層の投票率向上を図るため、模擬投票などを実施し、未来の有権者である区内の中学生を対象に開催。 ・会場 森中学校
通年	生徒会選挙支援事業	区内の学校で行われる生徒会選挙に際し、候補者用たすき、選挙管理委員会腕章などの選挙運動用物品や投票箱、記載台などの投票器材の貸出しを実施。
通年	明推協だよりの発行	推進委員・推進員の機関紙「明推協だよりの発行」を発行。 年3回発行(予定)

▼ 磯子区を元気にする標語・選挙標語作品展示



▼ 磯子まつり キャラクター人気投票ブース



▲ 啓発物品

金沢区

金沢区明るい選挙推進協議会では、「若い世代に選挙について関心を持っていただくために…」をメインテーマに様々な啓発事業を企画・実施しています。

まず、10月8日には幼児から小学生の子供をもつ親子を対象にした「親子映画会」を開催し、実際の選挙に使用する記載台や投票箱を用いてアンケートを実施し、選挙を身近に感じていただきました。

10月20日には「区民まつり(いきいきフェスタ)」に出展し、多くの参加者の皆様に選挙クイズやミニゲームを通して楽しく選挙について学んでいただきました。また11月初旬には「横浜市立大学」「関東学院大学」の学園祭に出展し、パネル展示や選挙クイズ、ミニゲームを通して若い世代に向けて積極的な啓発を行いました。

この他にも、各学校への「選挙器材の貸出し」、横浜ベイサイドマリナーでの「啓発物品の設置」、横浜市立富岡東中学校において「せんきよフォーラム」を開催して、さらなる若年層の政治・選挙に対する意識向上を図っています。



▲ 街頭啓発 ザ・イコット



▲ 映画会受付当日写真



▲ 市大「学園祭」当日写真



▲ いきいきフェスタ当日写真

● 常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
平成24年5月	企画検討会	事業活性化と推進員の運営参画の場として開催し、事務局と協議会推進員との間で平成23年度事業の振り返り、平成24年度事業の企画立案の検討を行いました。
6月	定例会	平成23年度事業結果及び決算の報告、平成24年度事業計画及び予算案について審議を行いました。
10月	明るい選挙親子映画会	若年有権者の選挙意識向上を図るため、「カーズ2」を上映し、同時に啓発ビデオの上映、啓発物品及びチラシの配布を行いました。 場所：金沢公会堂
	区民まつり(いきいきフェスタ)出展	区民の選挙意識向上を図るため、啓発物品の配布や選挙クイズを行いました。
	せんきよフォーラム	将来の有権者である中学生を対象に講演会を開催しました。 場所：横浜市立富岡東中学校 講師：倉石 裕子(元国際選挙監視要員)
11月	関東学院大学学園祭パネル展示	大学生に明推協活動を周知し、投票参加を呼びかけるため、パネル展示と啓発物品の配布を行いました。
	横浜市立大学学園祭ブース出展	大学生に選挙の重要性や投票参加を呼び掛けるため、選挙クイズ、ゲーム、パネル展示及び啓発物品の配布を行いました。

開催月	事業名	事業内容
11月	明るい選挙推進研修会	当協議会推進員の政治意識向上のため、横浜市立大学の学生にも参加していただき講演会及び討論会を開催しました。 場所：金沢区役所3階2・3号会議室 講師：横浜市立大学教授 和田 淳一郎
平成25年1月	明るい選挙クイズ	区民の選挙に対する関心を高めるため、「広報よこはま」金沢区版に選挙に関するクイズを掲載し、正解者に抽選で記念品を贈呈します。
年間	明推協にゆうす発行	事業に関する情報提供や意識向上のため推進委員・推進員に機関紙を発行します。 (年4回：6月、8月、1月、3月) ・事業計画及び結果報告 ・各種事業案内 ・選挙結果報告 等
	選挙器材貸出し	学生の選挙への関心を高めるため、区内学校で行われる生徒会役員選挙等に実際の選挙器材を貸出します。
	横浜ベイサイドマリナーへの啓発物品設置	青年有権者層が集まる横浜ベイサイドマリナーに選挙参加を呼び掛けるため、啓発物品(選挙マスコット「いこあら」入りウェットティッシュと「いこあら」入りメモ帳)を設置しています。

港北区

港北区明るい選挙推進協議会では、区民の方々のより一層の選挙・政治意識の向上が図られるよう様々な事業を行っています。

4月には、区内全地域を対象に計5回の地区ブロック研修を行い、推進員の相互連帯の強化を図りました。特に、新たに推進員になった方のため、推進員の役割といった内容を中心に研修しました。

8月には、毎年冬に行っていた「親子映画会」を、児童が夏休みである期間に行い、好評をいただきました。同時に実施したアンケートから、若い世代の方がどの広報媒体から情報を得ているかを分析し、今後の明推協の活動に活かしていきます。

11月には、日吉フェスタという、慶應義塾大学と地域が協力して開催しているイベントに初めて参加しました。様々な年代の方に選挙に対する自身の思いを書いたボードを持っていただき、撮影をするという内容で、家族連れの方や、多くの学生がブースに訪れ、大変好評でした。その時に撮影した写真を、許可を得た上で編集し、衆議院選挙のオリジナルのポスターとして港北区役所内に掲示した結果、多くの方が足を止めてご覧になっていました。

今後とも協議会の推進委員、推進員の皆様との連携を図り、さらなる推進活動の充実を目指して事業を推進していきます。

▼ 毎年恒例の長蛇の列
(港北ふれあいまつり)



▲ めいすいくん大人気
(親子映画会)



▲ 選挙に対する若者の思い
(日吉フェスタ)

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
平成24年 4月	地区ブロック別研修	政治・選挙や各地区における啓発活動等について、自由闊達な意見交換を行い、推進員としての自覚を高め、各地区明推協の活性化を図りました。 今回は特に、新しく推進員になった方を中心に推進員の活動内容などに焦点をあてました。
5月	港北区明るい選挙推進協議会	平成23年度の事業報告及び平成24年度の事業計画の審議を行いました。
8月	港北区明るい選挙親子映画会	子供に人気の映画を上映し、子供とその家族への選挙啓発と明推協のPRを行いました。 上映作品：『カーズ2』 会場：港北公会堂 参加人数：928人
10月	港北ふれあいまつり	選挙のクイズに回答することで参加できる、わなげのブースを出店しました。クイズでは期日前投票に関する知識を掲載し、来場者に選挙啓発を行いました。 場所：新横浜駅前広場
11月	日吉フェスタ	慶應義塾大学日吉キャンパスで行われているイベントに出展し、めいすいくんとの触れ合いコーナーを設け、たくさんの方に選挙を身近に感じていただきました。 また、来場者の方に、選挙に関する思いを記したボードを持っていただいで撮影し、プレゼントしました。
12月	せんきょフォーラム	区内の中学校で、外部講師に講演していただく出前授業形態のフォーラム事業を実施しました。講師を招き、「紛争後の平和構築」という演題で、紛争後のネパールでの選挙制度確立や、日本との違いについて講演を行いました。 場所：日吉台西中学校 対象：1、2年生 講師：福井 美穂 氏(元国際選挙監視委員)
平成25年 1月	施設見学会	市政に関連した施設の見学を行い、推進員に政治や選挙に関する理解、知識を高めてもらいました。 場所：横浜市中央卸売市場・横浜港湾内視察

開催月	事業名	事業内容
3月	港北区明るい選挙推進大会及び記念講演会	推進員が一堂に会し、きれいな選挙と投票への総参加の実現を目指した推進運動を、引き続き展開していくことを確認するとともに、政治や選挙に関する記念講演会を行います。
5月～1月	企画検討委員会	明るい選挙推進運動事業の企画内容について、推進員の代表の方々による検討会議を行います。
9月～12月	投票器材貸出し事業	中学校・高等学校の生徒会選挙の際に記載台、投票箱などの器材を貸出し、選挙の雰囲気体験してもらいました。
年4回	港北区イコット通信	明推協の機関誌として年4回発行し、推進員への啓発を図るとともに、事業の紹介、報告等を行います。

緑区

緑区明るい選挙推進協議会では、明るくきれいな選挙の推進と投票参加意識の向上を目指して、将来の有権者である若年層に対する啓発を含め、様々な啓発活動に取り組んでいます。

8月の「夏の啓発イベント」では、子どもたちに自分の見たい映画に1票を投じてもらう人気映画投票や、投票用紙のリサイクルの取り組みを紹介するパネルの展示を行いました。また、推進員の声によって形となった啓発物品（A5サイズのクリアファイル）の配布を行うなど、好評のうちにイベントは幕を閉じました。

10月に実施された「緑区民まつり」でも、人気映画投票を行ったほか、投票体験コーナーを設置し、実際にプラスチック製の投票用紙を触ってもらったり、投票箱の前を開いた状態で、折って入れた投票用紙が開いていく様子を見てもらったりして、選挙に親しんでもらう機会を設けました。

そのほか、年度初めに推進員向け研修会を、11月には推進委員・推進員向けの講演会を開催し、協議会の結束と知識向上にも力を注ぎました。

今後は2月に「子ども映画会」の開催、3月に中学生を対象とした「せんぎょフォーラム」を予定しており、引き続き協議会組織の連携を図り、推進活動の活性化と明るい選挙を推進していきます。

▼ 明るい選挙推進講演会の様子



▲ 人気投票の結果を開票している様子

● 常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
平成24年 6月、7月	推進員研修会	明るい選挙の実現と投票参加運動の推進を確認し、今後の協議会活動の結束と、推進員の知識向上を図る研修会を開催した。
8月4日	夏の啓発イベント	区民が利用する大型商業施設にてブースを設置し、啓発用風船を配布しながら、子ども映画会の上映映画の人気投票を行った。また、投票用紙のリサイクルの取り組みを紹介するパネルの展示を実施した。
10月21日	緑区民まつり	子ども映画会の上映映画の人気投票を行った。来場者に楽しく投票の体験をしてもらいながら、啓発物品やチラシを配布し、明推協のPR活動を行った。
11月19日	明るい選挙推進講演会	外部講師として松本 正生氏(埼玉大学経済学部教授・さいたま市明推協会長)を招き、推進委員・推進員及び区民の意識の高揚を図り、政治・選挙に関する理解と認識を深める機会とした。
平成25年 2月9日予定	子ども映画会	夏の啓発イベント、区民まつりの人気投票で選出された映画を上映予定。その他にも様々なイベントを企画。
3月予定	せんぎょフォーラム	将来の有権者である中学生を対象に選挙啓発を行う。
年間	投票器材等の貸出	区内の学校で行われる生徒会選挙に対し、選挙器材及び選挙用品の貸出を行う。

開催月	事業名	事業内容
年4回	明推協プロジェクト会議	有志の推進員によるプロジェクトメンバーが主体となり、緑区明推協事業の効果的な啓発活動の方策を検討する。
年4回	イコット通信の発行	推進委員・推進員を対象に、明推協事業の計画や報告等を掲載した機関紙を発行。

推進員の発案で生まれたクリアファイル▶



▼ 夏の啓発イベントの様子



青葉区

▼ 衆院選「ザ・イコット」



青葉区明るい選挙推進協議会では、明るくきれいな選挙の実現と投票参加意識の向上を目指して、将来の有権者である若年層を含めた区民への啓発活動を行っています。

6月6日に定例会議を行い、今年度の事業計画を策定し、青葉区明るい選挙推進協議会の活動がスタートしました。

7月2日には、青葉区明るい選挙推進協議会推進員委嘱式を開催し、推進員の方々に、明るい選挙推進協議会の設置趣旨や、意義を御確認いただき、また、今後の協議会活動への参加を賜りますようお願いしました。

若年層への啓発としては、小学校生活最後の給食デザートを模擬投票によって決める『せんきょフォーラム』出前授業を、1月16日、21日に区内の小学校にて実施しました。今後は2月13日にも実施する予定です。

また、区内大学と企画運営チームとの連携事業において、選挙啓発物品の企画を行いました。

なお、今年度末には青葉区明るい選挙推進研修会として講演会を開催する予定となっており、明推協活動に対する推進員の意識の向上を図っていきます。

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
平成24年 1月～2月	せんきょフォーラム	選挙啓発出前授業として、区内小学校で選挙の出前授業を実施する。
2月	青葉区明るい選挙推進研修会	講演会などを通じて、明推協の活動に対する興味を高め、選挙啓発への意識を高める。
年2回	イコット通信の発行	明推協の各種事業紹介や、報告などを掲載した機関紙を発行し、自治会町内会の回覧板等により広く明推協の活動を周知する。
通年	企画運営チーム会議	推進員の有志で構成されたチームにより、明推協事業の実施に際して、効果的な実施方法等の検討を行う。
通年	投票器材の貸出	選挙についての理解を深め、親しみを持てるよう、区内の小・中・高校等に投票箱、記載台などを貸し出す。
通年	メディアへのPR	啓発事業を実施する際に、メディアへの情報提供を積極的に行い、記事に取り上げてもらうことで効果的な周知に努める。

▼ 委嘱式の風景①



▲ 委嘱式の風景②

都 筑 区

都筑区明るい選挙推進協議会(以下、明推協)では、明るくきれいな選挙の実現と投票参加意識の向上を目的として、主に次のような取組を行っています。

一つ目に、明るい選挙推進大会を開催し、明推協の委員・推進員に対して昨年度の事業報告と今年度の事業計画を説明するとともに、講演会を開催して委員・推進員向けの研修としての役割も持つように工夫しました。なお、今年度の講師は、埼玉大学教授の松本正生氏により「変わる有権者と明推協活動」をテーマとしてご教示いただきました。

二つ目に、都筑区民まつりに明推協としてブースを出店し、選挙に関するパネルクイズと街頭啓発を行いました。パネルクイズの参加者は500人を超え、啓発活動は明推協委員及び推進員が積極的に取り組みました。

三つ目に、せんきょフォーラムについて、若年層向けの選挙啓発の取組として、都筑区として初めて、今年度から区内の小学6年生を対象に選挙に関する授業と模擬選挙(投票)を行います。

四つ目に、各地区協議会による選挙啓発について、夏祭りや運動会等のイベント時、また選挙啓発のポスターコンクールを開催してポスターを自治会・町内会の掲示板に貼って意識付けをするといった、各地区独自のアイデアによって取り組んでいます。

その他にも様々な角度から、今後も選挙啓発に取り組んでいきます。



▲ 都筑区民まつり

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
平成24年5月	都筑区明るい選挙推進協議会会議	前年度の事業内容を振り返り、平成24年度事業計画について協議を行う。
6月	都筑区明るい選挙推進大会	専門家による講演会と明るい選挙の実現及び投票参加の推進の活動方針を確認する。
8月	明推協PR事業	「星空のコンサート」に協賛し、ポスターへの記載及び当日の選挙啓発の実施。
9、3月	明推協だより(つづき区版)の発行	都筑区内各自治会・町内会に「明推協だより(つづき区版)」を回覧し、より多くの人に明推協の活動をPRする。
11月	都筑区民まつり参加	都筑区民まつり等において明推協のブースを設け、選挙啓発及び明推協のPR。
平成25年1、2月	せんきょフォーラム	小学校で出前選挙を行い、投票から開票までを行い小学生に選挙について関心をもってもらう。
年間	地区協議会企画事業	地区協議会ごとに啓発・研修事業を展開するとともに、メモ帳等の啓発物品を各地区において配布し常時啓発を行う。
年間	未来の有権者育成事業	生徒の選挙についての理解を深めるため、区内小・中及び高等学校の生徒会役員選挙に投票器材等の貸出しを行う。



▲ 各地区協議会選挙啓発



▲ 明るい選挙推進大会

戸塚区

▼ 衆院選「ザ・イコット」①



▲ 衆院選「ザ・イコット」②



▲ 衆院選「ザ・イコット」③

戸塚区明るい選挙推進協議会は、明るい選挙の実現と区民の積極的な投票参加を目指し、13人の推進委員と26人の推進員が、区まつり、講演会、映画会の各部会に分かれ、月に一度のペースで会合を開きながら様々な啓発事業に取り組んでいます。

9月2日には、子育て世代を対象に親子で楽しめる映画会を開催しました。映画の上映にあわせて、啓発グッズの配布やイコットちゃんとの撮影会のほか、「せんきょ川柳コンテスト」応募作品を紹介、上映終了後に優秀作品の表彰を行いました。

11月3日の戸塚ふれあい区民まつりでは、啓発グッズの配布や選挙クイズ、イコットちゃんとの記念撮影などを実施し、幅広い年代への啓発に努めました。

また11月30日には名瀬中学校において、劇団笑学塾を招いて「せんきょフォーラム」を開催し、生徒及び保護者に対する啓発を行いました。

今後も、推進委員、推進員が力を合わせて、啓発効果の高まる内容を検討し、自主的な啓発活動を実施していきます。

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
通年	明るい選挙ライブラリー事業	選挙啓発に関する教育器材をそろえたライブラリーを整備し、推進員の出身団体において身近な生活の話題から政治や選挙について意見交換を行う活動に対し、ビデオや冊子等の教育器材を貸し出す。
	『未来の有権者』育成事業	区内中学校を対象に、生徒会選挙等により実際に近い選挙を体験してもらうため、投票箱や記載台等、器材の貸出しを行う。
平成24年9月	とつかイコット映画会事業	来場者に対して、啓発グッズを配布し、明推協活動の紹介とイコットちゃんとの記念撮影、「せんきょ川柳」コンテストを実施した。 ☆日時：9月2日 ☆場所：戸塚公会堂 ☆作品：『忍たま乱太郎(実写版)』
11月	戸塚ふれあい区民まつり	来場者に対して、啓発グッズを配布し、明推協活動の紹介と選挙クイズ、イコットちゃんとの記念撮影を行った。 ☆日時：11月3日 ☆場所：東戸塚小学校
	せんきょフォーラム事業	政治や選挙の大切さを体験し、考えてもらうため、名瀬中学校の全校生徒を対象に、笑学塾による選挙コンテストと模擬投票を実施した。 ☆日時：11月30日 ☆場所：名瀬中学校

開催月	事業名	事業内容
平成25年3月(予定)	選挙啓発講演会	明推協運動の意義及び意識の高揚を図るため、推進委員及び推進員の出身団体を対象に、講演会と意見交換会を実施する。 ☆場所：戸塚区役所 会議室 ☆講師：壺阪 敏秀 (テレビ神奈川 報道局報道部長)
6月、9月、12月、3月	明推協通信	推進委員・推進員を対象に明推協の機関誌を発行。年4回。

▼ 区民まつり①



▼ 区民まつり②



◀ 映画会①

映画会② ▶



映画会③ ▶



栄区

「栄区明るい選挙推進協議会では、「きれいな選挙の実現」と、「区民の積極的な投票参加の促進」を目指して、各種事業を実施しています。

常時啓発活動としては、6月に「明るい選挙推進大会」を開催しました。第一部では、平成24年度事業計画の説明と「明るい選挙・投票総参加」を目指した決議文の採択を行いました。第二部では、神奈川新聞社の石曾根剛氏をお招きし、『今後の政治情勢』と題した講演を実施しました。記者として見た政治情勢や今後の選挙日程等について分かりやすく説明していただきました。推進委員及び推進員の意識の向上と交流を図ることができ、大変有意義な大会となりました。

7月には若い親子に人気の「はたらくるま大集合」に参加し、選挙に関する塗り絵ブースを設置し、啓発物品の配布を通じて、選挙のPRを行いました。また、11月には栄区民まつりに出展し、似顔絵コーナーを開設しました。さらに、1月には施設見学会を兼ねた研修会を、2月・3月にはそれぞれ将来の有権者である中学生を対象とした「せんぎょフォーラム」(2月)「SAKAEヤングフェスティバル」(3月)にも出展を予定しています。

各事業の計画や報告、推進員の事業への参画については、いずれも「イコット通信」(年4回発行)で情報提供を行っています。今後も主体的な啓発活動を行い、積極的な明るい選挙推進活動を進めていきたいと考えております。

▼ 衆院選「ザ・イコット」①



▲ 衆院選「ザ・イコット」②

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
平成24年 6月15日	明るい選挙 推進大会	平成24年度事業計画の説明及び講演会を実施しました。 講演テーマ「今後の政治情勢について」 講師：石曾根 剛氏 参加者：76人
7月16日	選挙独自啓発事業	区政推進課、総務課セーフコミュニティ担当と連携し、栄区いち川マスコットキャラクター「タッチー君」と「セーフコミュニティロゴ」「イコットJr」のイラストをあしらったハンドタオルを製作し、親子が集まるイベント「はたらくるま大集合」の塗り絵ブースで配布しました。 場所：JR本郷台駅前広場
11月3日	栄区民まつり 明るい選挙 啓発事業	栄区民まつりに栄区明推協として参加し、来場者に似顔絵を描いてプレゼントすると同時に、選挙啓発活動を実施しました。 場所：本郷中学校
平成25年 1月10日	推進委員・ 推進員研修事業	推進委員・推進員の意識の高揚と明るい選挙推進運動の前進を図るため、施設見学会を兼ねた研修会を計画しました。
2月27日 (予定)	せんぎょフォーラム 事業	将来の有権者である中学三年生を対象に政治や選挙に関する講演会を実施します。

開催月	事業名	事業内容
3月17日 (予定)	SAKAEヤング フェスティバル 明るい選挙 啓発事業	将来の有権者である区内の青少年を対象としたイベントに栄区明推協として参加し、選挙クイズ等を通じて関心を持ってもらうことにより将来の有権者としての意識を高めてもらうきっかけとします。
年間	投票器材の貸出	区内の学校の生徒会役員等の選挙に際し、投票器材の貸出を行います。
年4回	イコット通信の 発行	協議会活動の周知や推進委員・推進員の組織の連携を図るための機関紙を発行します。



◀ 明るい選挙推進大会
第2部(H24.6.15)



▲ 栄区民まつり(H24.11.3)



◀ はたらくるま大集合
(H24.7.16)

▼ ザ・イコットの様子①



▲ ザ・イコットの様子②

泉区明るい選挙推進協議会では、明るくきれいな選挙の実現と投票参加意識の向上をめざして、将来の有権者である若年層に向けた啓発を含め、さまざまな啓発活動に取り組んでいます。

幅広い世代への啓発事業として、11月3日に和泉遊水地で開催された泉区民ふれあいまつりにて啓発ブースを出展しました。大人を対象にした選挙クイズや、子どもを対象にしたピンボールやイコット釣りなど、様々な世代の区民に選挙啓発を呼び掛けました。

将来の有権者に向けた啓発事業として、今年で22年目を迎える中学3年生を対象にした民主主義と選挙のクイズ「あと5年」の配布や、生徒会選挙等への投票器材等の貸出し事業を行っています。

また、小学6年生を対象に「デザートせんきょ」を実施しました。これは、小学校最後の給食につくデザートを何にするかを題材に、選挙のレクチャーと模擬投票の体験学習を併せた出前授業です。自分たちが投票し選ばれたデザートが実際に給食に出てくることから、毎年大変好評となっています。

常時啓発としては、2月に「わいわいファミリーコンサート」を開催し、投票率の低下がみられる若年層へ投票を呼びかけるほか、区内で行われるイベント等での啓発物品の配布など、現在の有権者に向けた啓発活動も実施していきます。

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
平成24年 11月3日	泉区民ふれあいまつり 啓発事業	区民まつりにて啓発ブースを出展し、選挙クイズやピンボールなど、大人から子どもまで楽しめるブースを運営した。
平成25年 1月	民主主義と選挙のクイズ「あと5年」	中学校3年生を対象に、社会科副教材「あと5年」を基にしたクイズを出題し、解答する過程を通じて、民主主義と選挙の基礎知識の普及を図る。通算22回目。
1月～2月	せんきょフォーラム	区内小学校を訪問し、6年生を対象に選挙のレクチャーと模擬投票の体験学習を併せた出前授業「デザートせんきょ」を行う。(8校で実施予定。)
2月	わいわいファミリーコンサート	推進員をはじめ、投票率の低下がみられる若年層が参加しやすいように、コンサートを開催し、投票への参加を呼びかける。
年3回	明推協だより	推進委員、推進員向けに事業計画や報告等を掲載した機関紙を発行する。
年間	投票器材の貸出	区内の学校で行われる生徒会選挙等に際して、投票器材を貸し出す。また要望がある場合は職員が出向いて、選挙の進め方を説明する。

▼ 泉区民ふれあいまつりの様子



▲ 「わいわいファミリーコンサート」の様子

▼ 街頭啓発①



▲ 街頭啓発②

瀬谷区明るい選挙推進協議会では、明るくきれいな選挙の実現と区民の投票参加の促進を目指して各種啓発活動を行っています。

常時啓発活動では、若年層向け啓発事業として、8月に「明るい選挙子ども映画会」を開催しました。啓発ビデオを上映するとともに、横浜市の選挙のマスコミキャラクター「イコット Jr.」と瀬谷区のマスコミキャラクター「せやまる」の人気投票を、実際に選挙で使う器材を用いて実施し、親子で選挙への関心を高める機会としました。

1月には、区内小学校において「デザート選挙」を開催し、自分たちの食べたいデザートを投票で決めることにより、実体験を通じて選挙を意識する機会としてもらいます。

また、年間を通じて区内小中学校等を対象に生徒会選挙のために投票用器材の貸出しも行っています。

そのほかに、10月の「瀬谷フェスティバル」において、ブースを出店し、選挙パネルの展示、選挙クイズの実施など、広く区民へ啓発を行ないました。

また、1月に「推進員研修会」として、政治関連施設の見学や意見交換を行い、3月には「明るい選挙推進大会」を開催することで、推進委員・推進員の一層の意識高揚を図り、引き続き、明るくきれいな選挙の推進に取り組んでいきます。

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
平成24年 8月	明るい選挙 子ども映画会の 開催	区内の幼児、児童とその保護者を対象に開催し、映画上映後に本物の投票箱を用いた模擬投票を実施した。 上映：ディズニー映画「モンスターズ・インク」 会場：瀬谷公会堂 参加者数：230人
10月	瀬谷フェスティバル への参加	「瀬谷フェスティバル」に明推協ブースを出店し、啓発活動を実施した。 会場：上瀬谷通信施設はらっぱ
平成25年 1月予定	推進員を対象と した研修会の実施	政治・選挙関連施設の見学と意見交換を行う研修会を実施し、選挙に関する理解を深め、推進員の交流を図る。
1月予定	せんきょフォーラム の開催	区内小学生を対象に政治・選挙への関心を高めるためのデザート選挙を開催する。
3月予定	明るい選挙 推進大会	明るくきれいな選挙の推進について推進委員・推進員の意識を高めることを目的とした推進大会を開催する。
通年	投票器材の貸出し	選挙への理解を深めるため、区内小中学校等に投票箱や記載台等の貸出しを行っている。
通年	イコット通信の 発行	推進委員・推進員の機関紙を発行している。 発行回数：年3回

▲ 瀬谷フェスティバル写真



▲ 子ども映画会

横浜市 今年度の事業から

●横浜市明るい選挙推進協議会事業

事業名	内容	備考
研修事業	区明推協委員・推進員を対象とした明るい選挙推進研修会・推進大会の開催を通じて、推進員のスキルアップや明るい選挙と投票参加についての意識高揚を図りました。	1 リーダー研修会 日時：10月30日(火) 会場：ウィリング横浜 2 市・区推進大会 日時：平成25年1月23日(水) 会場：横浜文化体育館
将来の有権者及び若年層向け啓発事業	将来の有権者の意識啓発を図るため、小学校、中学校、高校の生徒会役員選挙や出前授業の支援、若者啓発グループ等の若年層啓発事業を支援します。	1 生徒会選挙、出前授業等物品の作成 2 若年層啓発活動支援 3 市内大学と連携した啓発事業の実施(共催) 4 高校生の投票事務に関する検討
(財)明るい選挙推進協議会連携事業及び市・区明推協連携事業	(財)明るい選挙推進協議会が主催する事業に参加します。また、区明推協の常時啓発でその内容において共催することが望ましい事業を共同で実施し、市民に明るい選挙の推進を訴えます。	1 (財)明るい選挙推進協議会連携事業 (1)各種フォーラム 2 市・区明推協連携事業 (1)区明推協活動助成等
白バラよこはま(No.43)発行	市及び区で実施する各種啓発事業紹介、寄附禁止等を掲載した機関誌を作成し、市・区明るい選挙推進大会等で関係者に配布します。	3,000部

●横浜市選挙管理委員会 常時啓発事業

事業名	内容	備考	
選挙管理委員会単独事業	若年層啓発事業(市内大学との連携)	啓発事業の新たな展開に向けて、市内大学と連携し、過去14回にわたり実施した「投票参加状況調査」のデータ分析に基づく効果的な啓発事業について調査研究を行いました。(明推協との共催) また、若年層向けの常時啓発用映像を制作し、若者の利用が多いインターネット等の情報ツールを活用した効果的な情報発信を行います。	5月募集 7月末、9月末、11月末の3回進捗報告 12月21日提出
	新有権者ダイレクトメール(はたちブック)	新有権者にとって必要な選挙の知識、選挙のルール、市政に関する情報のほか、若者の生活様式や感覚に即した情報を掲載した冊子「はたちブック」を作成し、新有権者全員に郵送しました。	発送対象者：約33,000人 発送時期：12月初旬
	成人の日を祝うつどい	「成人の日を祝うつどい」会場内のASTROビジョンでの呼びかけや会場内で横断幕を掲出するなどして、新有権者に選挙の重要性や今年の夏の参議院選挙及び横浜市長選挙の投票参加を訴えました。	実施：平成25年1月14日(月・祝) 会場：横浜アリーナ 対象：約34,000人
	将来の有権者への啓発事業	教育委員会と連携し、市内中学校の3年生全員に、選挙や政治の大切さをわかりやすく説明した社会科副教材「あと5年」を配布し、学校教育の中で将来の有権者となる中学生に啓発を行います。 また、教育委員会が本年度進めている「社会参画」に関する中学校モデル授業の制作研究会に参加し、将来の投票行動につなげるための主権者教育の実施に向け働きかけを行っています。	実施：3月 中学校に配送 市内中学3年生 約30,000人 実施：通年
選挙制度等の広報	選挙管理委員会ホームページを活用して、選挙制度の周知を進めていきます。特に、指定施設での不在者投票や在宅投票等、郵便投票制度について、関係団体との連携を図るなど、対象者への積極的な広報を実施します。	実施：通年	
市明推協との共催・連携事業	せんぎょフォーラムの実施	将来の有権者向けフォーラムとして、区・市選挙管理委員会が作成した「出前授業教材キット」等を活用し、学校と区・市選管、区明推協が協働して、受講者参加型の出前型授業を中心に実施します。 また、身近な問題(日常生活や地域社会等)について考え、話し合うことで、選挙・政治への関心を高めるきっかけづくりとなる学習講座等を開催します。	実施：通年 会場：各区学校等
	啓発パネル掲出	きれいな選挙と投票参加の呼びかけや期日前投票制度の周知を図るため、啓発パネルを市営地下鉄の各駅に掲出しています。	地下鉄改札口付近 30駅34枚(通年)
市明推協への支援事業	明るい選挙推進大会開催の後援	市・区明るい選挙推進協議会関係者が一堂に会し、各区の活動報告や啓発事業等の現状に関する情報共有を行うことで、推進員自身が学ぶ場とする推進大会の開催を支援します。	日時：平成25年1月23日(水) 開場：横浜文化体育館
	区明るい選挙推進研修会等開催の支援	区明るい選挙推進研修会や推進大会の開催を支援し、区明るい選挙推進協議会の活性化を進めます。	
	明推協自主事業及び組織強化のための補助	市及び各区の明るい選挙推進協議会が地域の特性に合わせて実施する行事、イベント等の各種啓発事業や組織活性化のための活動に対して補助を行います。 また若者による横浜市選挙啓発団体(イコットプロジェクト)の啓発事業に対しても引き続き支援しています。	

市内大学との連携事業

今年度は、横浜市選挙管理委員会と横浜市明るい選挙推進協議会の共催で「投票参加状況調査」のデータ分析に基づく若年層向け選挙啓発事業の提案募集事業を実施しました。そこで、事業の概要及び提案のありました3大学9グループの提案要旨について御紹介します。なお、提出されました全グループの提案につきましては、改めて冊子にまとめ御報告します。

●事業の概要

目的	選挙とは、有権者が政治に参加する最も重要な機会であり、積極的な投票参加が民主政治の健全な発展のために必要となりますが、一方で若年層の投票率は依然として低い傾向となっています。したがって、一人ひとりが政治や選挙に関心を持てるよう、若者の視点に立って啓発事業を実施する必要があります。このような考えに基づき、横浜市選挙管理委員会が過去14回にわたって実施してきた「投票参加状況調査」のデータ等をもとに、大学生など若年層独自の視点で原因・傾向等を分析し、より効果的な選挙時又は常時啓発事業について提案してもらうよう募集しました。
テーマ	「投票参加に対する効果的な若年層啓発について」
募集方法	市内全大学へ募集要項を送付後、個別に説明。
応募者	個人を含め、9グループ(3大学、4つのゼミより)
募集～提出まで	5月募集→7月末、9月末、11月末の3回進捗報告→12月21日提出
研究成果の活用方法	横浜市選挙管理委員会・横浜市明るい選挙推進協議会の今後の活動の参考とすると共に、各種冊子への掲載や記者発表等も行っていきます。

●提出された提案事業の要旨

※11月末に各グループからヒアリングした内容となっています。

大学名	グループ	テーマ	要旨
横浜市立大学	和田ゼミ X	横浜市における投票参加からみた投票率向上に関して	投票所への不満と投票所までの距離、投票行動の相関関係を分析し、投票率の向上に繋がる提案を行う。また若年層に有意の投票傾向を調査し、投票率向上に効果のある提案を行う。
	和田ゼミ α	投票参加の決定要因の分析と投票啓発事業	投票行動に関するコスト要因を調査し、これらの課題を解決するための提案として、大学を期日前投票所・当日投票所にした場合の効果について分析する。また期日前投票の具体的なPR方法についても検討する。
	和田ゼミ I	投票率の向上に向けて	期日前投票制度の認知度は高いが十分に利用されていない現状から、3つの仮説を立て、それぞれにICTを活用した対処法を提案する。
	坂口ゼミ	若年層のコスト意識に訴える啓発のあり方	「投票率が低い年代は年齢が進んでも低いまま」という分析をもとに、高校生からの啓発に注目。投票所の従事体験等、選挙に対するコスト意識の醸成も絡めて、高校生に対する啓発事業を検討する。
明治学院大学	牧野 傑	若年層の投票率向上に向けた啓発事業～投票参加と選挙情報媒体の関係性に関する分析を通して～	若年層の接触率が低い接触することで投票につながる「選挙公報」に焦点を当て、選挙公報を活用した啓発活動を検討する。また、選挙公報の認知度や接触状況に関するアンケートを学生に行い、子どもの頃から選挙公報に親しむことの重要性を検証し、提案事業へとつなげる。
神奈川大学	務台ゼミ①	投票率から見た経済政策	選挙における争点の有無と投票率の相関性を分析し、各政党の政策を有権者に分かりやすく提示することで投票率が向上するか検討する。
	務台ゼミ②	選挙教育から考える若年層向け啓発事業	主権者教育の歴史と投票率との関連、現在ある啓発グループの活動状況(出前授業等)などを調査し、将来の投票率を向上させるような主権者教育の内容を検討する。
	務台ゼミ③	若年層の政治・投票意識分析からの啓発事業	投票参加状況調査の分析と神奈川大学生へのアンケート結果を比較検証することで、若年層への有効な啓発事業を検討し、効果予測を行う。
	務台ゼミ④	スウェーデンとの比較と実例から見る若者へのアプローチ	政治教育が盛んなスウェーデンの実例を調査し、その結果から、若者から若者に向けた活動をする若者主体の団体の形成について提案する。

平成 24年
12月 16日 執行

第46回衆議院議員総選挙、第22回最高裁判所裁判官国民 審査、市議会議員西区選挙区補欠選挙 啓発事業実績

昨年12月16日、第46回衆議院議員総選挙、第22回最高裁判所裁判官国民審査、及び市議会議員西区選挙区補欠選挙が行われました。

公示(告示)期間中、市内公共機関・駅前・大学等にポスターや看板・横断幕などを掲出し、街頭啓発「ザ・イコット」等で、積極的な投票参加ときれいな選挙を呼びかけました。

今回の選挙は、衆議院小選挙区選挙が60.50%、最高裁国民審査が58.97%、市議会議員西区補欠選挙が58.00%の投票率でした。衆議院小選挙区選挙は前回(平成21年8月30日執行)より8.36ポイント減、全国平均(59.32%)より1.18%高く、神奈川県内市町村(平均59.87%)の中では17位となりました。



桜木町駅懸垂幕



関内駅前大看板



広報車

第46回衆議院議員総選挙・横浜市議会議員西区選挙区補欠選挙 事業実績

実施項目		数量	内容	
看板・幕・ポスター類	看板・横断幕・懸垂幕	59枚	地下鉄等鉄道主要駅、市庁舎、区庁舎、商店街等(追加:西区内地区センター・スポーツセンター)に看板・懸垂幕・横断幕を設置	
	ポスターの掲出	約25,000枚	コンビニエンスストア、自治会・町内会掲示板、交通広告(駅貼りポスター等)、郵便局、公共機関等に掲出	
	地下鉄改札口パネル	34枚	30駅34か所の改札口付近に啓発パネルを掲出	
	公営ポスター掲示場を利用した啓発	4,712箇所	選挙運動用ポスター掲示場を利用し、投票日、投票時間の案内を表示	
移動型広告	借上広報車	延べ81台	四面看板を搭載した宣伝車によって巡回啓発を実施	
	バスフロント幕	約1,800枚	バスのフロントに啓発幕を掲出 市営:約800台 民営:約1,000台(県選管で実施)	
	車体側面シール	約2,200枚	ゴミ収集車・公用車の両側面に啓発ステッカーシールを掲出	
	ゴミ収集車	約1,700台	巡回中に、投票日・期日前投票制度周知の啓發文を放送	
	公用車	約100台	公用車等を活用して、投票日・期日前投票制度を周知、投票参加の呼びかけを放送	
各世帯等印刷物	広報よこはま市・区版	約160万部	各世帯に配布	
	「投票のご案内」同封用啓発チラシ	約170万部	各世帯に発送	
	選挙公報	約170万部	ページの余白に投票日、投票時間を掲載。全世帯に配布。	
	点字版、音声版「選挙のお知らせ」	ボランティア団体等の会員	市議補欠選挙の選挙公報を点訳、録音した「選挙のお知らせ」のボランティア団体等による作成、配布(区役所、図書館等へ設置)	
放送等	市広報番組	各2回	「ずばり!横濱」(テレビ神奈川) 「ようこそ横浜」(日本放送) 「ヨコハマ・マイチョイス!」(FMヨコハマ)	
	市・区庁舎等での啓発放送	随時	市・区庁舎などで投票参加の呼びかけ放送	
	電光掲示板	随時	市営地下鉄電光案内板、区戸籍課窓口等の電光掲示板	
	文字放送	随時	tvk データ放送横浜市情報で、広報を実施	
ホームページ	選挙案内ページの作成	随時	市選挙管理委員会のホームページで投票日や期日前投票を周知 市議補選の選挙公報を掲載	
大学での啓発	大学の構内、フェンス等に幕、看板を掲出	市内大学	投票参加を呼びかける幕、看板を掲出	
	大学ホームページへのPRバナー掲載		大学が管理するホームページに啓発広告を掲載	
行事	街頭啓発「ザ・イコット」	18区	各区地域などを単位として数人のグループを編成し、区内の主要繁華街、駅頭などでの街頭啓発や、それぞれの場所を起点として場所を移動しながら投票参加の呼びかける。	
	ポケットティッシュ	約200,000個	各区街頭啓発等での投票参加の呼びかけに使用	
ブラカード	約100本			
既製の活用	卓上マスコット	約1,600個		区役所、地区センターなど市民利用施設の窓口に設置
	イコットぬいぐるみ(着ぐるみ)	19体		市及び各区に1体
	イコットパンチング人形	22体	市及び各区に1~2体	

横浜市 明るい選挙推進リーダー研修会 開催



平成二十四年十月三十日(火)、横浜市福祉保健交流センターウィング横浜(港南区上大岡)を会場に、「横浜市明るい選挙リーダー研修会」を行いました。

参加者は、各区の明推協推進委員・推進員二十九名。主催者である横浜市明るい選挙推進協議会会長の浅井正美会長の挨拶に続き、「主権者教育の現状と明推協の役割」というタイトルで、桐蔭横浜大学スポーツ健康政策学部スポーツ教育学科教授 谷田部玲生氏による基調講演が行われました。

講演では、小・中・高校における有権者教育の実態について、学習指導要領の解説を含め、分かりやすくご説明いただきました。

その後、参加者は各区選管書記も加わり六十八名が八グループに分かれ、昼食を挟んで約二時間三十分、

討議を行いました。

討議には、「『明るい選挙推進協議会』に求められる新たな役割とは?」を共通テーマとして、

(1) 学校との連携に向けた取組について(選挙フォーラム(出前授業、模擬投票)への参画、生徒会選挙への参画、その他)

(2) 政治判断能力を高めるための事業について(推進委員・推進員を対象とした研修会や学習会の開催、地域(出身団体等)における話し合い活動や学習会の開催、その他)

(3) 選挙事務への参画について(指定施設等における不在者投票の投票立会人、投票(期日前投票を含む)事務、開票事務、その他)

について話し合い、次のような意見が出ました。

- ・(1) 学校との連携に向けた取組について(選挙フォーラム(出前授業、模擬投票)への参画、生徒会選挙への参画、その他)
 - ・ 中学校の生徒会選挙に推進員が積極的に参加し、開票に区選管職員と推進員が立ち会って、投票の効力について生徒たちと一緒に考えてみるとよい。
 - ・ デザート選挙の参加者の対象に父母を加えてみるのはどうか。
 - ・ アメリカでは大統領選の時期に学生が候補者の主張を代弁して討論会をしている。明推協の模擬選挙でも、デザート選挙のような架空のものではなく、実際の政策を主張し合ってみると、政策を判断する能力が養われるのではないか。
 - ・ 「あと5年」は非常によくできているため、継続すべき。
 - ・ 公民の時間に限らず、社会の時間、ひいては普段の学校活動の中で選挙の大切さを伝えていくと良い。
 - ・ 近年の防犯意識・不審者対策の向上により、学校の管理が厳重になり、気軽に学校側と接触できない状況がある。PTAや学校との連携がうまくいく

くか分からない。

・ 地域のイベントや学校行事と組み合わせて選挙のイベントを行うと、来場者が増えてよい。

・ 選挙フォーラムは区によって年に一校しか実施できない場合もあり、限られた生徒しか体験できない点が課題。

・ 小学校から学校教育として政治や選挙のことを勉強させるのは早すぎる気もする。

・ 学校の先生が授業でない自然な会話の中で教育していくことも重要。

・ 投票所になっっている学校では、選挙のタイミングで児童に選挙の周知をするのも効果的。

(2) 政治判断能力を高めるための事業について(推進委員・推進員を対象とした研修会や学習会の開催、地域(出身団体等)における話し合い活動や学習会の開催、その他)

・ 他区の活動状況を知ることができる場を、もっと提供してほしい。

・ 推進員が選挙について答えられるように学習会を開こうとしたが、教えられる人がいなかった。

・ 委員の改選時に各地域で研修会を開催していく。

・ 推進員としてやってみたい事や思ったことを実現させるために、区役所と連携を取って、積極的に推進員の要望を発信していくことが大事。

(3) 選挙事務への参画について(指定施設等における不在者投票の投票立会人、投票(期日前投票を含む)事務、開票事務、その他)

・ 自治会だけでなく、明推協の推進に対しても投票立会人等の参加希望を取ってほしい。

・ 指定施設での明推協による立会いは難しい。

・ 管理者・立会人以外の開票事務は若者でもよいのではないか。

・ 高校生を雇うなど、選挙の場に若い人がいると現場が活気づくし、本人にも良い経験となる。

・ 人材不足。やり手がいらないのはあるが、違った人ができるようなスキームを作るべき。

・ 選挙の場に若い人がいると現場が活気づくし、本人にも良い経験となる。

・ 人材不足。やり手がいらないのはあるが、違った人ができるようなスキームを作るべき。

■その他

- ・家庭内で選挙の大切さを説くことも必要。
- ・投票率向上のために、公共メディアをもっと活用すべき。
- ・地域で声を掛け合って投票に行くような仕組みは最終的に町づくりとなる。
- ・防災訓練、挨拶運動、地域での夏祭り等、選挙以外のことからできることをやっていく。
- ・明推協自体の存在が薄い。イコット通信を活用し、積極的に伝えていくべき。

グループ討議の後、各グループ代表者から話し合われた内容について発表していただき、その後、修了証が授与されました。



横浜市明るい選挙推進リーダー研修会
アンケートより

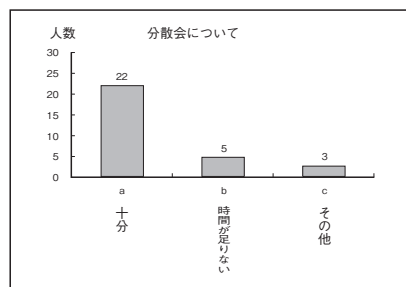
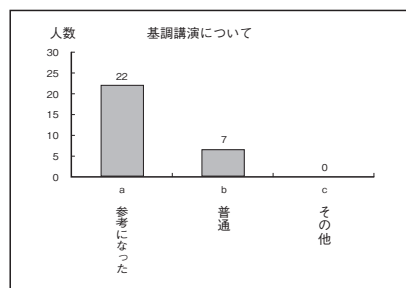
リーダー研修会では、三十九名の参加者に対してアンケート用紙を配布し、三十一名から基調講演や分散会についての御意見をいただきました。ありがとうございます。ごさいました。

【基調講演の感想】

- ・学校教育が昔とは違っており、子どもたちの現状が理解できた。参考になった。
- ・有権者教育が軽い位置にあることにびっくりした。大事な教育なので、先生自身の意識を高め、しっかり教育してもらえないようになってほしい。
- ・教育の中で時間が取れないというのが少しがっかりした。
- ・若年層の選挙関心の薄さがいつも問題となっているが、今回もこれといった対策は示されず、難しいと思った。
- ・自ら考え、判断・行動に結びつけるためには、どう動けばよいかなど、アドバイスが欲しかった。
- ・もう少し、推進委員がモチベーションを高められるような内容を希望。

【投票率を高めるため、地域の中でどのような活動が効果的か】

- ・地域活動の中で、自分たちの行動がいかに住環境の改善に寄与しているかを実感してもらおうことが大切。行動が結果につながる。投票行動が政治を動かすことの実感。
- ・地域内のコミュニティを高めることが選挙につながると思う。
- ・地域の行事に多くの人が参加してもらおう。
- ・隣近所の方々への声掛けが必要。
- ・特に若年層を対象とした地域諸活動(防災・減災訓練等多様なもの)にて啓発。
- ・若いお父さん、お母さんを取り込んでの活動。



- ・町内会を通じ中高生に選挙の立会いをさせる。
- ・家庭内での話題として話し合いを持ってもらう。
- ・大学で明推協のクラブはできないか。
- ・選挙に行く義務を認識する。
- ・教育機関と協力し、学校において選挙に関する講義イベントを実施すると良い。
- ・教育の中で歴史問題にきちんと取り組み、現代社会に目を向ける人間を育てていくべき。

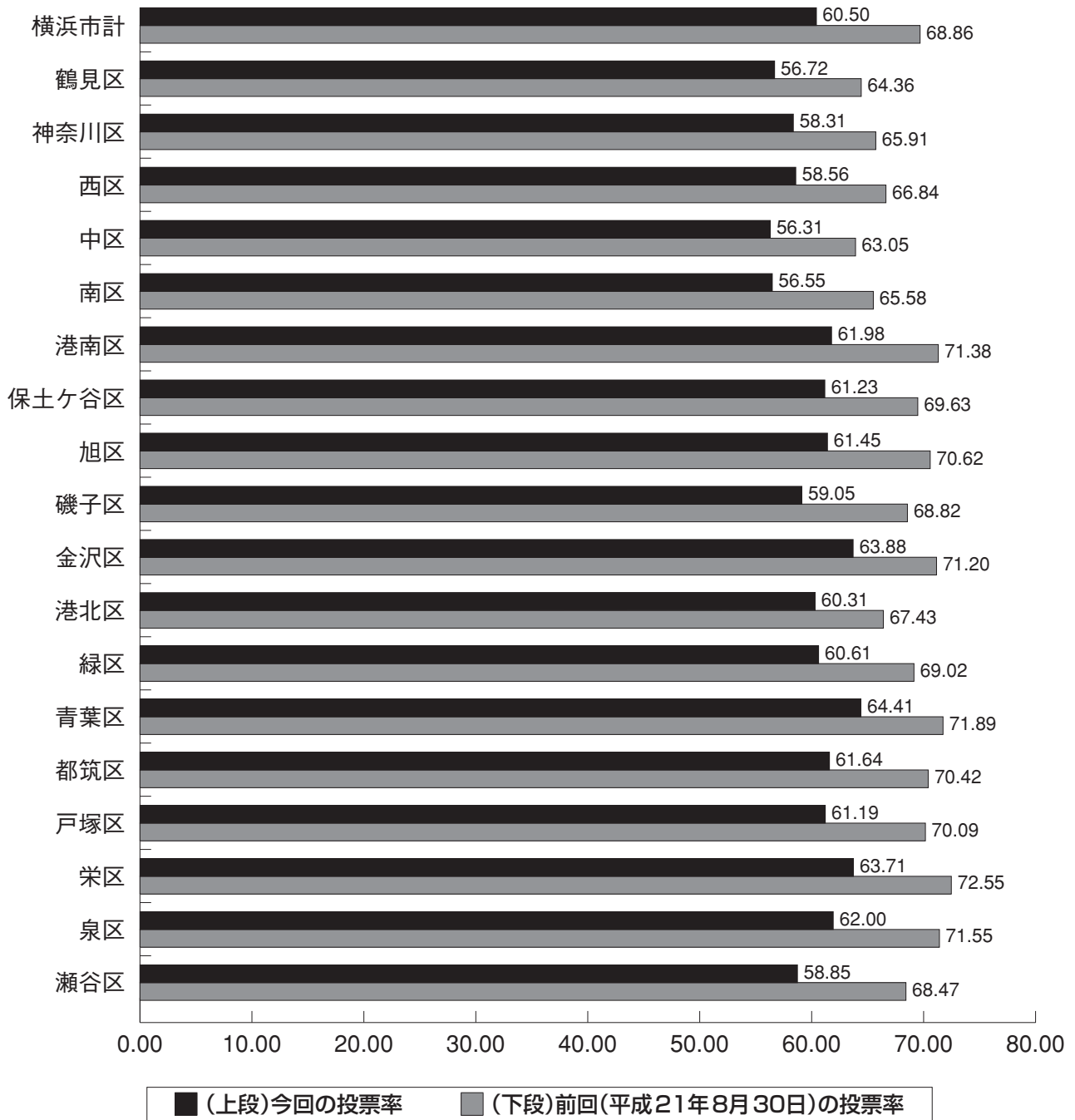
【その他、気づいた点】

- ・単なる大会的なイベントではなく、実効のある企画であった。小編成のグループも結果的には良かった。ただ、最後の発表の後に意見交換を行えたらよかった。
- ・自分が何をすればよいか、他区の話聞くことができた。
- ・いろいろな投票所の苦労話などが聞けて良かった。活動の違いを感じた。
- ・資料は事前に送ってもらい、検討してから出席できる形にしたほうがよい。
- ・もっと様々な研修会を企画し、投票で実施の可否を決めてみてはどうか。
- ・研修会だけでなく、交流会をどんどん促進してほしい。

平成24年12月16日執行

第46回衆議院議員総選挙(小選挙区)

<行政区別投票率(%)>



《投票率上位3区》

- ①青葉区(64.41%) ②金沢区(63.88%) ③栄区(63.71%)

平成24年12月16日執行

市議会議員(西区)補欠選挙

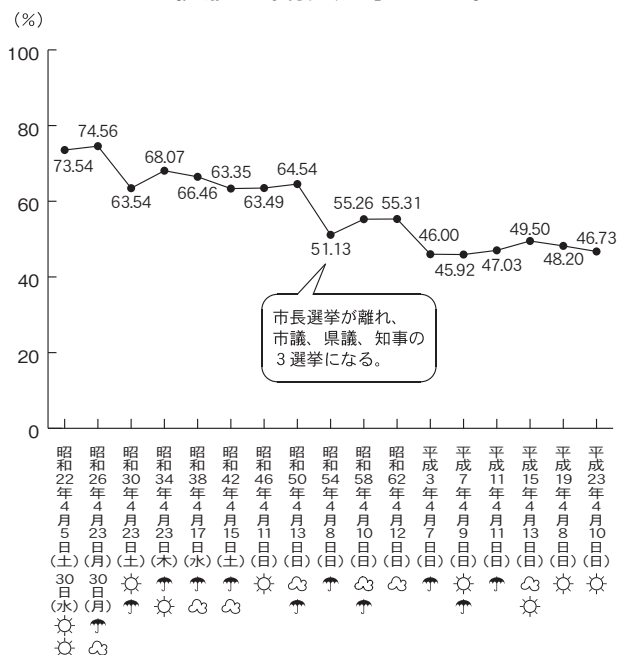
投票率
58.00%

各選挙における投票率

つぎの4つのグラフは、各選挙における横浜市の投票率のグラフです。
最近低下しつづけていた投票率が、上向きに転じているものもありますが、
全国的に低下傾向にある投票率は、横浜市も例外ではありません。
今後も明るい選挙の活動を推進していきましょう。

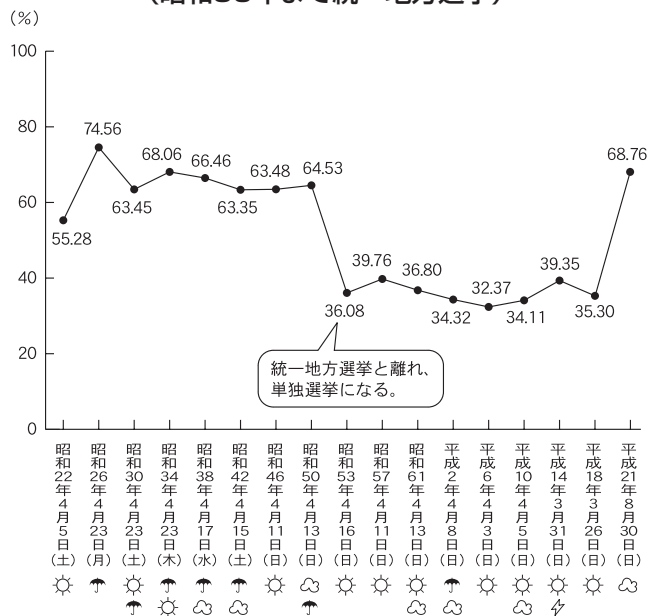
統一地方選挙

(数値は市議会選挙のもの)



市長選挙

(昭和50年まで統一地方選挙)



注) 第一回統一地方選挙

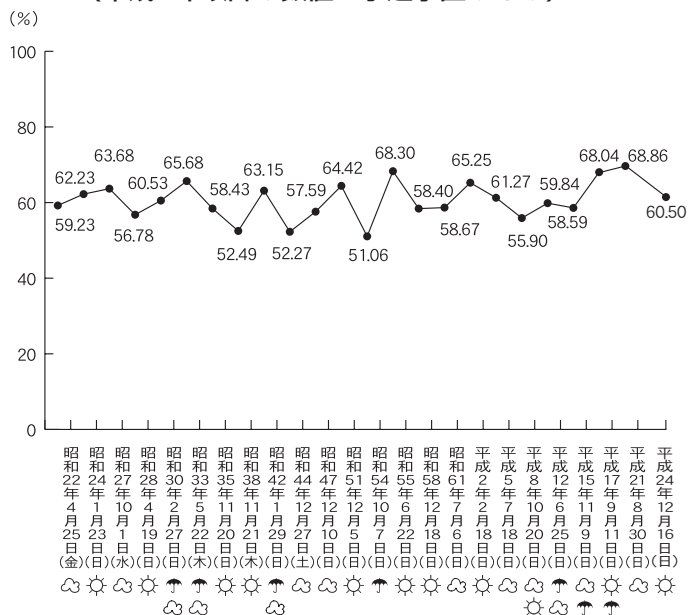
昭和22年4月5日 市長・県知事選挙
4月30日 市議会・県議会選挙

第二回統一地方選挙

昭和26年4月23日 市議会・市長選挙
4月30日 県議会・県知事選挙

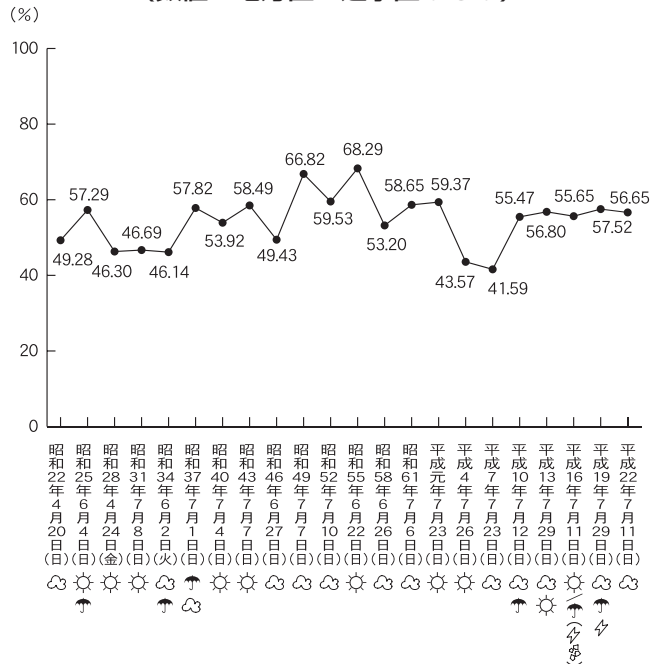
衆議院選挙

(平成8年以降の数値は小選挙区のもの)



参議院選挙

(数値は地方区・選挙区のもの)



<インターネット等による啓発>

横浜市選挙管理委員会では、若い人に選挙への関心を高めてもらうため、インターネット上での啓発を実施しています。また選挙時には選挙専用のページを作成し情報を提供しています。

○パソコンやスマートフォンはこちらへ

[URL] <http://www.city.yokohama.lg.jp/senkyo/>



○携帯電話はこちらへ

[URL]

<http://m.city.yokohama.lg.jp/sk/>



**今年(平成25年)夏
横浜市長選挙
参議院議員通常選挙
あなたの大切な1票、必ず投票しましょう!!**